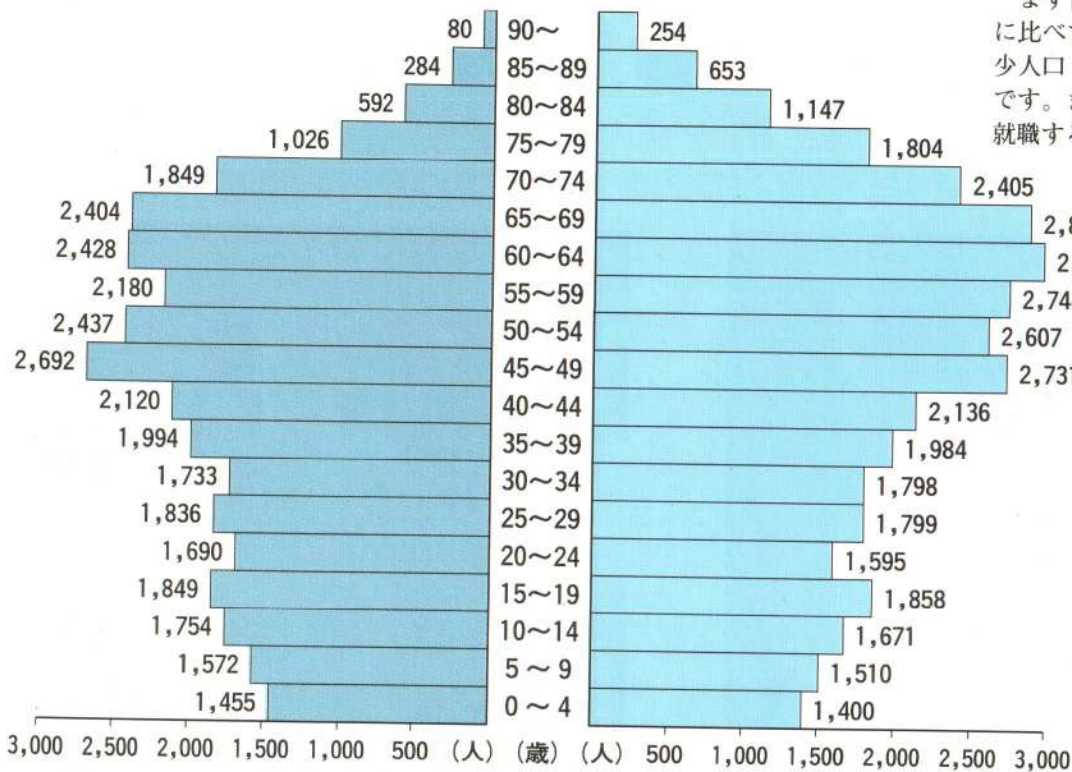


グラフでみる大館

② 年齢別人口

男 31,975人

女 35,949人



(平成11年7月1日現在)

大館市の年齢別の人口を5歳ごとに区切って、男女別のグラフにまとめてみました。

まず目につくのは、ほかの世代に比べて、グラフの底辺となる年少人口(0~14歳)が少ないことです。また、高校、大学を卒業し就職するときの「地元離れ」もグラフに表れています。

大館市の全人口に占める65歳以上の人口(高齢人口)の割合を見ると、3年前の19.7パーセントから、現在は22.6パーセントに増加。

出生率の減少と高齢人口の増加は全国的な傾向で、社会問題にもなっています。



広がっています
生涯学習の輪

市長リポート

No.186

生涯学習は、日々の生活に生きがいと学ぶことの楽しさを持ち続けていくものとして、その重要性を増してきました。また、高齢者の豊かな老後のためだけでなく、若い世代にも学習の機会を与える場という役割も果たしています。こうした学習の機会をいつでも、どこでもそしてだれでも得ることができる環境をつくるのが、行政にとつて極めて重要なことと考えています。その時、障害になるのが、学びたいと思うときに指導してくださる先生や講師がいないという、人材不足の問題です。そのため、市としても、できる限り学習の場を提供していきたいと思っています。

その一つとして、市の職員が日ごろ身につけたいろんな知識や特技を生かして講師役を務めるという「市役所出前講座」を行っています。これは、学んでみたい項目を選び、申し込んでいただきますと、市の担当職員が出かけ、説明したり、質問に答えたりするものです。しかし、生涯学習の幅広いニーズにこたえていくには、行政だけでは限界があります。そこで、広く市民の皆さんにも生涯学習ボランティアや社会人講師として活躍していただく「人材博物館」を始めました。人材博物館に登録しているかたが指導、活動できる内容は「人材知名鑑」にまとめてあります。これら出前講座と人材博物館がみ合ってくる、生涯学習の環境も飛躍的に向上すると考えています。

そのほか、各施設で行われている各種講座・講習は、生活の幅を広げるのに役立つばかりではなく、再就職する際の職業学習のよい機会にもなることでしょう。また、市民の皆さんの「もっと専門的なことを勉強したい」という声にこたえて行われている、短大と協力した公開講座もたいへん好評です。これからも学習の場をさらに広げ、生涯学習がさかなまちづくりを目指していきたいと思っています。

小畑 元